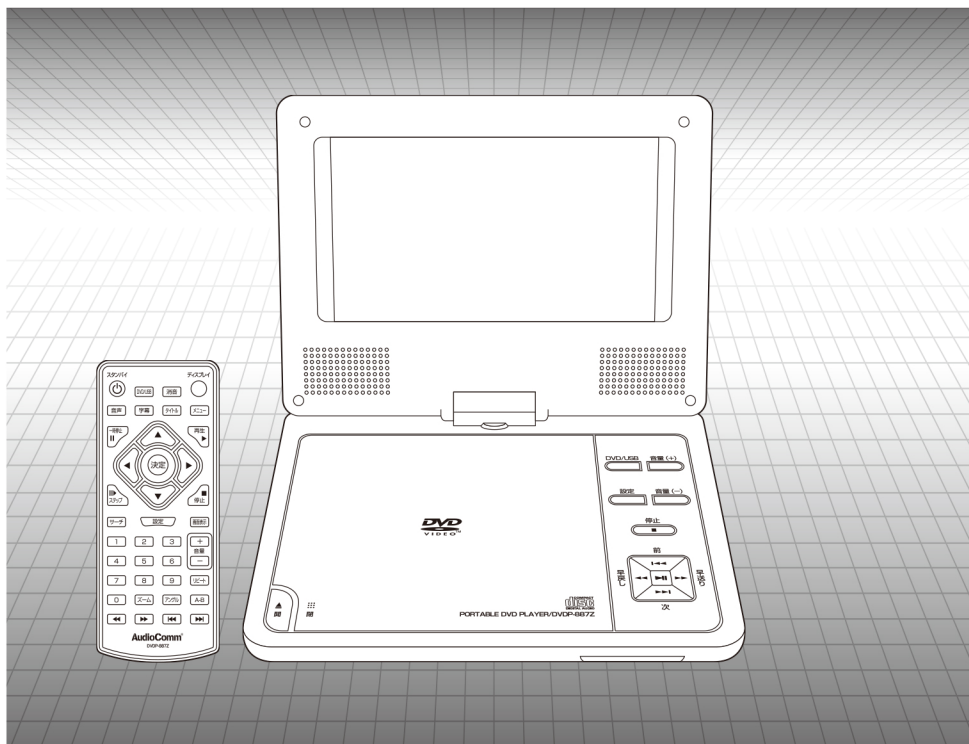
AudioComm®

取扱説明書 保証書付

ポータブルDVDプレーヤー

型番：DVDP-887Z
品番：07-0887

このたびは、AudioComm® ポータブルDVDプレーヤーを
お買い上げいただき
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

本製品およびこの取扱説明書をご利用いただくにあたって以下のことをご理解ください。

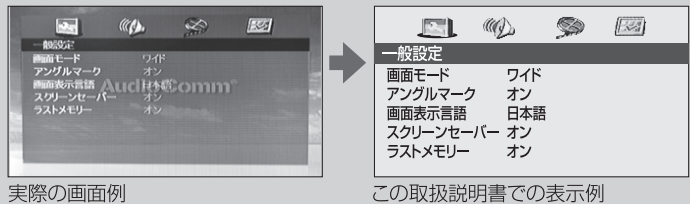
免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
●取扱説明書（本書）を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間および経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常
●落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
●関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状態によって生じた本製品の利用機会の損失

本書で使用している画面表示の図版について

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。あらかじめご了承ください。

実際の画面例

この取扱説明書での表示例

本書の操作説明で使っているボタン・スイッチ等の名称について

本製品では、ポータブルDVDプレーヤー（本機）と付属するリモコン双方で様々な操作ができます。この取扱説明書では、同じ機能を有するボタンやスイッチ類の名称が本機とリモコンで異なる場合、リモコンの名称を使って説明をしています。本機側で操作をしたい場合は、その都度ボタン・スイッチ類の図版も紹介していますので、参考にしてください。

DVDの規格について

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使い方を間違えると操作に反応しないことがあります。使い方を間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、⃠のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはDVDディスクによって無効を意味しています。

無効マーク

●ボタンを押し、無効マークが出たら、その時点での操作は無効です。画面が変わるか、時間をおいて再操作してください。
●DVD以外のディスクでは操作に制限があります。

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物（DVD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。磁気や電磁障害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

もくじ

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

強 制

日本の家庭用電源で使う

ACアダプターは、家庭用コンセント(AC 100V 50 ／ 60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

禁 止

ACアダプターを他の製品に使用しない

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷･発煙･火災の原因となる場合があります。

禁 止

ACアダプターやコードを傷つけない

ACアダプターやコードの損傷による火災や感電を防ぐため、次のことをお守りください。
・ ACアダプターやコードを加工したり、傷つけたりしない。
・ 無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・ コードの表面のビニールを熱器具に近づけたり、加熱しない。
・ ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACアダプターを持って抜く。

ACアダプターを抜く

ACアダプターのコードが傷んだときは、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。ACアダプターコードが傷んだら、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁 止

濡れた手でACアダプターの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

強 制

ACアダプターは定期的に掃除、点検する

ACアダプターは差したままにせず、最低でも年に1回は点検し、付着したホコリや汚れなどを拭き取ってください。汚れにより発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠警告

強 制

清掃・点検はACアダプターを家庭用コンセントから抜いて行う

家庭用コンセントに差し込んだまま行うと、感電の危険があります。

感電に注意

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

禁 止

定格を超えて使用しない

延長ケーブルやOAタップなどの定格を超えて使用しないでください。タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電のおそれがあります。

禁 止

破損したコンセントを使用しない

家庭用コンセントにACアダプターを差し込んでもゆるみがある場合、火災や感電のおそれがあります。別のコンセントでご使用ください。

禁 止

通気口をふさがない

通気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。

禁 止

温度や湿度が高くなる、次のような場所で使ったり、放置しない。

内部温度の上昇による発火や感電、機器の故障の原因となります。次のことを守ってください。
・ **浴室や湿気・ほこりの多い場所、砂塵などが浮遊する場所、油煙が当たるところ**に置かない。
・ **暖房器具のそばや、直射日光が当たる場所等、高温になるところ**に置かない。
・ **雨天時・降雪時の屋外、海岸、水辺など**で使用しない。
・ **布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。**
・ **振動の強い場所**に置かない。
・ **腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所**に置かない。
・ **極端に高温、低温、温度変化の激しい場所**に置かない。

水かけ禁止

本機内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。
･ディスクトレイ等から金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり落とし込んだりしない。
･本機の上に水の入った容器や小さな金属類（クリップや針、コイン、安全ピンやヘアピンなど）を置かない。
･水がかかるような場所（風呂場、台所･洗面所等）では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露等に注意する。

プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁 止

踏んだり、乗ったり、投げたり、落としたりしない

衝撃による破損・故障や、火災・感電の原因となります。持ち運びの際は特にご注意ください。

⚠ 警告

禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところに置かない
感電やケガの原因となることがあります。

分解禁止

本体を修理、改造しない
火災、感電の原因となります。

禁止

破損・変形したり、補修したディスクは使わない
ディスクを読み取る際は高速で回転しますので、ケガをするおそれがあります。また、回転中のディスクには絶対に触れないでください。

プラグを抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

禁止

車の中で使わない
本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズを拾い、音声や画像が乱れます。窓を閉め切った自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故のおそれがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。市販されている電源コンバーター等を使って本機を使用しないでください。

強制

次のような症状が見つかったら…
・異常な音やにおいがする、煙が出ている。
・本機を落とした、本機の一部を破損した。
・正常に動作しない。
・ACアダプターやコードに傷がある。

電源を切り、ACアダプターを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。

禁止

業務用途には使わない
過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。

注意

航空機内でのご使用は、航空会社の指示に従う
事故の危険があります。

⚠ 注意

注意

適切な音量で使用する
周囲の迷惑にならないようにご注意ください。

注意

ヘッドホンで聴く時は、適切な音量で使用する
耳を刺激するような大音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。周囲の音も十分確認できる音量でご使用ください。

禁止

ピックアップレンズを覗き込まない
ピックアップレンズから発するレーザー光線を見続けると視力に悪い影響を及ぼします。

禁止

USBフラッシュメモリーを乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと窒息や障害の原因となります。

禁止

長時間、再生画面を見続けない
目の疲れや視力低下の原因となります。また体の一部に不快感や痛みを感じた時はすぐに使用を中止し、休憩してください。

禁止

安定した場所に置く
ぐらつく台や傾いた台の上など、不安定な場所に置くと、落下によるけがや故障の原因となることがあります。

プラグを抜く

長時間使わない時などは家庭用コンセントからACアダプターを抜く
旅行等でしばらく使わない場合やお手入れをする場合、あるいは本機を移動させる場合は、火災や感電の思わぬ事故を防ぐため、ACアダプターを抜いてください。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない
液晶画面が壊れてけがの原因となるおそれがあります。

強制

ACアダプターは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、感電の危険や加熱等により火災の原因となります。

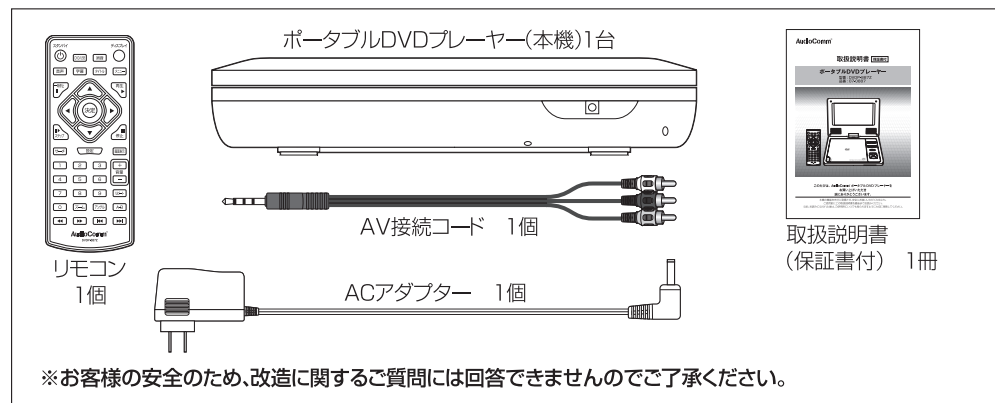
禁止

ディスクドアを閉じる時は、ドアの中に手を入れない
指を挟むなど、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

機器の上に乗らない
倒れたり壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

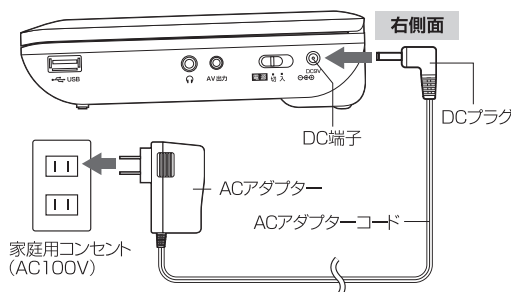
付属品をご確認ください

※お客様の安全のため、改造に関するご質問には回答できませんのでご了承ください。

電源について

ACアダプターで使う場合

必ず家庭用電源でご使用ください

●本機右側面のDC端子に、ACアダプター（付属）のDCプラグを差し込みます。
●家庭用コンセントにACアダプターを差し込みます。
●本機を長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから外してください。

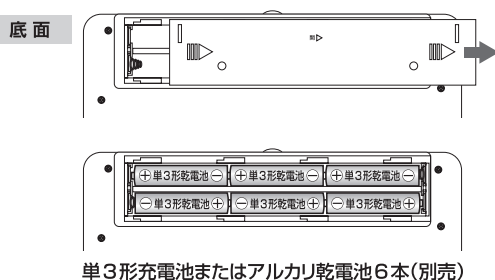
DCプラグを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってから行ってください

※付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池で使う場合　映画など長時間のDVD再生時は、ニッケル水素充電池でのご使用をおすすめします。

1.本機底面の電池カバーを矢印の方向にスライドさせて外します。
2.単３形乾電池６本（別売）を極性（⊕⊖）に注意しながら図のように入れます。
3.電池カバーを元通りにしっかりと閉めます。

単３形充電池またはアルカリ乾電池６本（別売）

アルカリ乾電池での連続再生時間は約2時間です。
ニッケル水素充電池での連続再生時間は約3時間です。

●本製品には充電機能はありません。充電池を充電する場合は、本製品から取り出し、ご使用の充電池に適合する市販の専用充電器をお使いください。
●充電の際は、充電池および充電器に付属する取扱説明書や注意書きに従って行ってください。
●アルカリ乾電池やニッケル水素充電池の連続再生時間は目安であり、使用条件や電池の状況により異なります。ディスクの再生時間も合わせて確認してご利用ください。
●マンガン乾電池ではご使用になれません。

ニッケル水素充電池使用時のご注意

ご使用方法

●充電をする時は、専用の充電器を使用し、機器に付属している取扱説明書に従い正しく充電してください。
●長期間使用しなかった場合は、2〜3回放電を繰り返してください。
●充電池の使用時間が著しく低下した時が寿命なので新しい充電池と交換してください。
●購入後、充電池を直射日光の強い場所や炎天下の車内など、高温の場所で使用、放置しないでください。初回使用時の使用時間が短くなったり、性能や寿命を低下させることがあります。

⚠危険

●充電池に対応した専用の充電器以外で充電しない。
●⊕と⊖を逆さにして使用しない。
●ハンダ付け、変形、改造、分解をしない。
●火中へ投入、過熱しない。また、ショートさせない。
●水中ライト等の密閉した器具に使用しない。
●充電池から漏れた液が目に入った時は、こすらず、きれいな水で十分に洗い流して、ただちに医師の治療を受ける。

⚠警告

●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
●金属製のネックレスやヘアピン等といっしょに持ち運んだり保管しない。
●外装ラベルを剥がしたり傷をつけない。
●10個以上を直列に接続しない。
●充電池の液が皮膚や衣服に付着した時はきれいな水で洗い流す。
●液もれや変色、変形などの異常に気づいた時は使用しない。
●乳幼児の手の届かないところに保管する。充電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談する。

⚠注意

●充電した電池と放電した電池を混用しない。
●新旧の充電池、乾電池と混用しない。また容量や種類、銘柄の違う充電池を混用しない。
●充電池に強い衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
●2個以上を使用する時は同時に充電したものを使用する。
●使用しない時には機器から取り外す。

使用済み充電池を廃棄するとき

使用済みの充電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

リモコンの使い方

リモコンに電池を入れる

1. リモコン背面の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて外します。
2. 単４形乾電池２本（別売）を極性（⊕⊖）に注意しながら図２のように入れます。
3. 電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。

図１　図２

リモコンによる操作

・リモコンの信号送信部を本機のリモコン受光部（電源ランプの隣に内蔵）に向けて操作してください。
・使用範囲は、本機のリモコン受光部から上下左右30度以内、4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
・直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。

リモコン受光部
4m以内
30°　30°

リモコンは暖房器具付近、ダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの噴出し口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。
※他社製品を動作／作用させる可能性がありますのでご注意ください。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

●乾電池が液漏れしたとき
万一液が漏れたら、液をよく拭き取る。液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
●機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。
●火の中に入れないでください。
●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠ 注意

●使いきった電池は取り外してください。また長時間使用しないときは取り外してください。
●新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
●電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷する原因となります。

使用済み乾電池を廃棄するとき

使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

ご使用になれるメディアについて

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

ディスクタイプとマーク	記録内容	ディスクサイズ
DVD-Video DVD±R/RW	映像＋音声 （主に映画）	12cm
AUDIO CD CD-R/RW	音声（音楽） WMA/MP3	12cm 8cm （シングルCD）
	画像 JPEG	

※本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと直径８／12cmのオーディオCD、MP3またはJPEGデータを記録したCD-R/RWのみです。これらのディスク以外は再生できません。

※お客様が作成したディスクは、書き込みスピード、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生できない場合があります。

本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。

※読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは?

・CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。
デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限（例：「ダビング10」=録画した番組を、他のデジタル機器に9回までコピー（ダビング）することが可能で、10回目はムーブ※（移動）のみ可能。すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません）があります。DVDに番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー（HDD搭載モデルを含む）とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができるようになります。
また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは?

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、次の違いがあります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです（互換性=高）。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

DVD-R/DVD-RW VRモード　本書中で右の表示があった場合は、VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを本機で再生するときにも使用できる機能を示しています。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

●本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。

マークはDVDビデオディスクの統一マークです。

マークは音楽用CDの統一マークです。

リージョンコード（国番号）について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。
「ALL」と「2」（または「2」を含むもの）が表示されたディスクの再生が可能です。
（例）

このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

次ページに続く

ディスクの構成について

DVD

DVDビデオディスクは「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

・「タイトル」とは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとを指します。
・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。

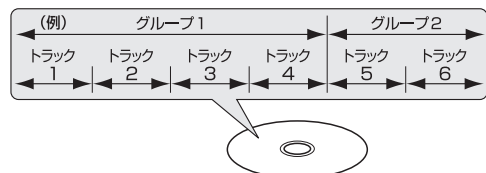
音楽用CD

音楽用CDは、「トラック」で区切られて構成されています。

・「トラック（ファイル）」とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとを指します。

CD-R/CD-RW（JPEGファイル形式）

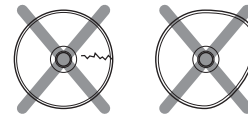
JPEGファイル形式のデータは「グループ（フォルダ）」と「トラック（ファイル）」に区切られて構成されています。

・「トラック（ファイル）」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
・「グループ（フォルダ）」とは、いくつかのトラック（ファイル）をまとめたものを指します。

再生できないディスク

下記のディスクは再生できません。

●リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
●DVD-ROM
●CD-ROM
●Video-CD
●DVD-RAM
●DVD-Audio
●PD
●BD（ブルーレイディスク）
●HD DVD
●CD-I
●CD-G（CDグラフィクス）
●CVD
●SACD（ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません）
●特殊な形状のディスク（ハート形など：故障の原因となります）

※8cmアダプター（音楽用CD用）は使わないでください。故障の原因となります。
※記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）は再生できない場合があります。
※ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、そしてMP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。
※ファイナライズ済みのDVD-R／DVD+R／DVD-RW／DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能です。書き込みソフト、編集方法、メディアの質などによりさらに再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込みファイナライズ処理を行ってください。
※DTS（Digital Theater Systems）でのみ録音されているディスクは再生できません。
※DOLBY Digitalでのみ録音されているディスクは再生できません。

ディクス使用上での注意点

ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

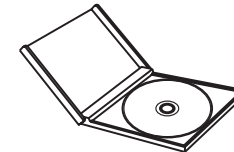
再生中、ディスクはプレイヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

ディスク取扱い上の注意

●再生面に触れないように持ってください。

●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。

●長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ご注意 ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

USBフラッシュメモリーについて

本機ではUSB2.0までのUSBフラッシュメモリー（最大容量32GB）に収録された音声や映像、静止画を再生できます（フォーマット：FAT、FAT16、FAT32対応）。ただし、1つのデータは最大1GBまで。

※本機のUSB端子はUSBフラッシュメモリー専用です。それ以外のUSB機器を接続すると、機器の故障やデータを損失する場合がありますので、絶対に接続しないでください。

USBフラッシュメモリー使用上での注意点

●データ消失を防ぐため、ご使用の前にUSBフラッシュメモリー内のデータを他のメディアにバックアップしてください（弊社ではメディアの破損、データの消失等に関して一切の責任を負いません）。
●USBフラッシュメモリーを抜き差しする時は、必ず本機の電源を切った上で行ってください。
●USBフラッシュメモリーを装着する際は、表裏を十分確認の上、正しい向きで差し込んでください。
●USBフラッシュメモリーを取り外す時は、差し込んだ方向と逆の向きに引き抜いてください。
●装着・取り外し時に無理な力を加えると、USBフラッシュメモリーや本機を破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

次ページに続く

ご使用になれるメディアについて(つづき)

ファイル形式等に関する制限事項

【共通事項】

●多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを早くするには、以下を参考にしてください。
・メディア内の階層は8階層までにする。
・メディア内のファイル数は50000以下にする
・メディア内のフォルダー数は64以下にする

●ファイル名が長いとすべてを表示できない場合があります。

【映像ファイルについて】

●最大解像度:720(横)×480(高さ)ピクセル
●ファイル形式:MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4
●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット:ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
●MPEG-4形式の映像ファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。また、以下の場合も再生できない場合があります。
・2つ以上のファイルを結合した映像ファイル
・最大解像度を超える大きさの映像ファイル
・1GB以上の映像ファイル
・3時間以上の映像ファイル
●データCD上の高ビットレートの映像ファイルは滑らかに再生できない場合があります。データDVDの使用をおすすめします。
●映像ファイルによっては、映像が乱れたり、音飛びがするなど、滑らかに再生できないことがあります。そのような時は低いビットレートでファイルを作成することをおすすめします。それでも音声が乱れる場合は音声形式が適切であるか確認してください(MPEG-4ビデオ形式の場合はAAC LC形式)。
●USB1.1/1.0のUSBフラッシュメモリーに記録された映像ファイルは正常に再生されない場合があります。DVD、またはUSB2.0のUSBフラッシュメモリーでのご利用をおすすめします。
●MPEG-4 AVCの映像ファイルは再生できません。
●GMC (Global Motion Compensation) やQpel (Quarter pixel)で記録された映像ファイルの再生は保証しておりません。

【MP3、WMAオーディオファイルについて】

●ファイル形式:.wma、.mp3
●サンプリング周波数:8〜48kHz(WMA)
●ビットレート:8〜320kbps(WMA)
●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット:ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
●コピープロテクト(DRM)のあるファイルは再生できない場合があります。
●WMAおよびAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。

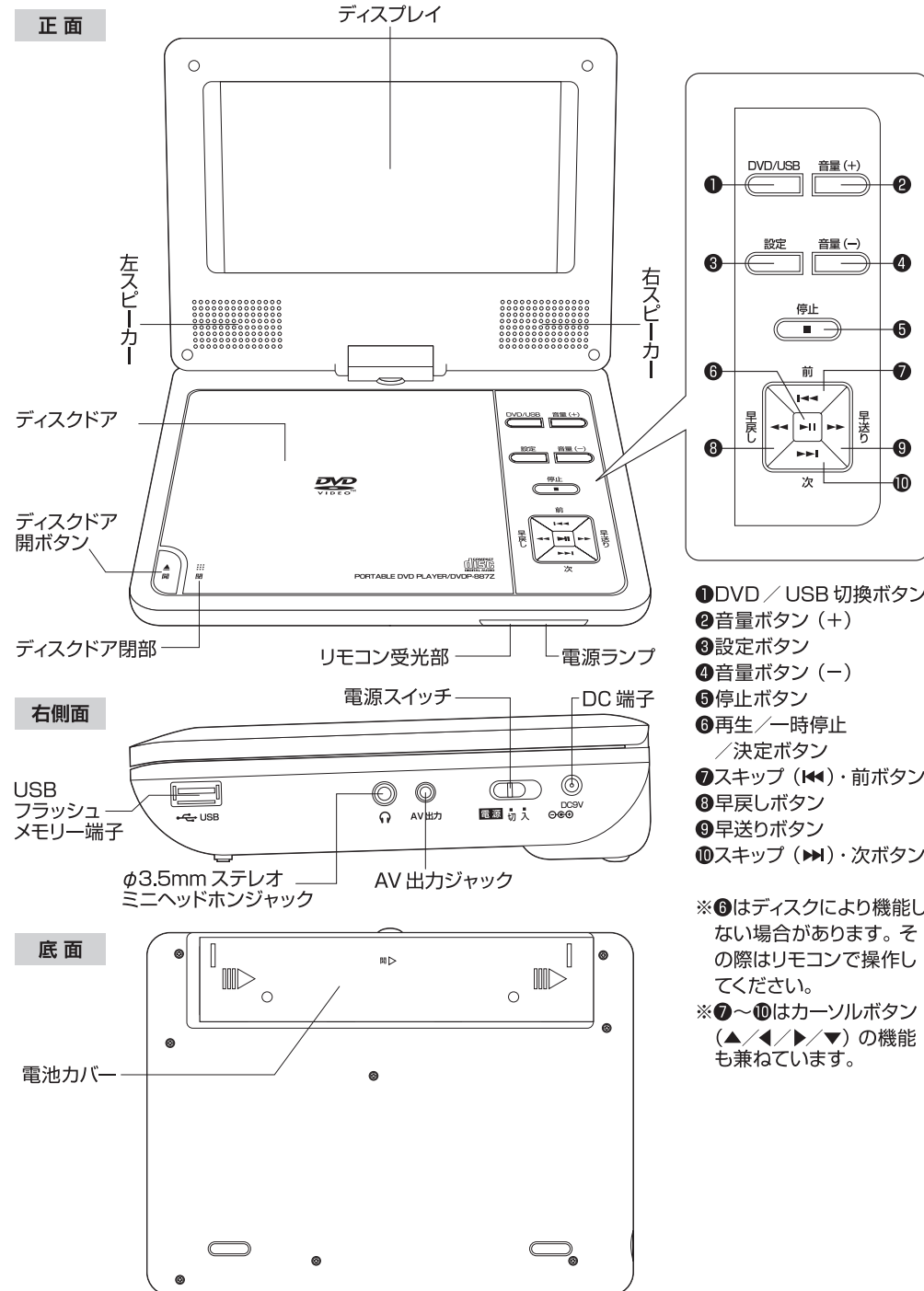
【静止画像ファイルについて】

●ファイル形式:.jpg、.jpeg
●推奨サイズ:4000×3000×24ビット/ピクセル以下
●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット:ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
●プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。
●JPEG画像ファイルによっては、再生できない場合があります。

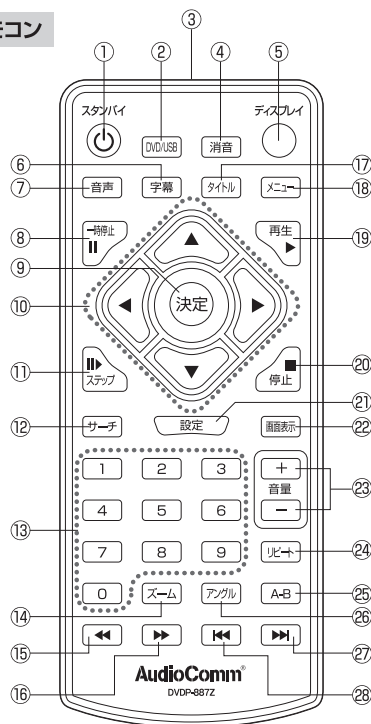
フォルダー階層を持つCD-R/RWやUSBフラッシュメモリーについて

音楽ファイルや画像ファイルが、フォルダーによって階層化されたCD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを本機にセットした場合、本機ではフォルダーを無視して、全ファイルを並列的にリスト化します。

各部の名称

❶DVD/USB切換ボタン
❷音量ボタン(+)
❸設定ボタン
❹音量ボタン(−)
❺停止ボタン
❻再生/一時停止/決定ボタン
❼スキップ(⏮)・前ボタン
❽早戻しボタン
❾早送りボタン
❿スキップ(⏭)・次ボタン

※❻はディスクにより機能しない場合があります。その際はリモコンで操作してください。
※❼〜❿はカーソルボタン(▲/◀/▶/▼)の機能も兼ねています。

各部の名称(つづき)

リモコン

①スタンバイボタン
スタンバイ↔電源オンを切り換えます。

②DVD／USB 切換ボタン
DVD と USB の切換を行います。

③信号送信部
この部分を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

④消音ボタン
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。

⑤ディスプレイボタン
ディスプレイ表示のオン／オフを切り換えます。

⑥字幕ボタン
字幕を切り換えます（対応ディスクのみ）。

⑦音声ボタン
お好みの音声言語を選択します(対応ディスクのみ)。

⑧一時停止ボタン
再生を一時停止します。

⑨決定ボタン
選択を確定させるときに押します。

⑩カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使います。

⑪ステップボタン
コマ送りで再生するときに押します。

⑫サーチボタン
観たい場面を指定して再生するときに使います。

⑬数字ボタン
数字を入力するときに使います。

⑭ズームボタン
拡大・縮小表示するときに使います。

⑮早戻しボタン
早戻しをします。押すたびに戻すスピードが増します（最大 32 倍まで）。

⑯早送りボタン
早送りをします。押すたびに送るスピードが増します（最大 32 倍まで）。

⑰タイトルボタン
タイトルメニューを表示します（対応ディスクのみ)。

⑱メニューボタン
ディスクメニューを表示します（対応ディスクのみ)。

⑲再生ボタン
再生を開始します。

⑳停止ボタン
再生を停止します。

㉑設定ボタン
セットアップメニューを表示します。

㉒画面表示ボタン
再生しているメディアの情報を表示します。表示内容はメディアにより異なります。

㉓音量ボタン（＋／－）
出力される音量を調節します。

㉔リピートボタン
繰り返し再生をします。

㉕A-B ボタン
範囲を指定して繰り返し再生をします。

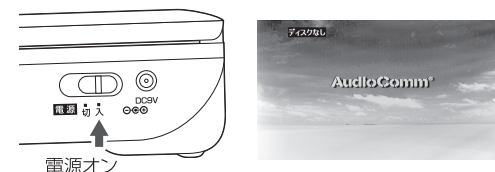
㉖アングルボタン
アングルを切り換えます（対応ディスクのみ)。

㉗スキップボタン（⏭）
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター（トラック）にジャンプして再生を始めます。

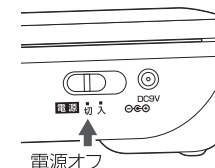
㉘スキップボタン（⏮）
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター（トラック）に戻って再生を始めます。

電源のオン／オフについて

主電源(本機電源スイッチ)の操作

本機右側面の電源スイッチを「入」の位置に合わせると電源が入り、「AudioComm」の画面が表示されます(電源ランプが赤く点灯し、続いて緑色に変わります)。ディスクが入っていない場合は「ロード中」に続いて「ディスクなし」とディスプレイ左上に表示されます。

電源を切る時は本機右側面の電源スイッチを「切」に合わせます(電源ランプが消灯します)。

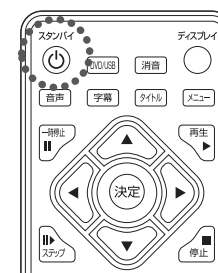
ヒント

リモコンのスタンバイボタンを押した場合はスタンバイ状態(電源ランプが赤く点灯)と電源オンを切り換えます。

リモコンのスタンバイボタンについて

本機の電源スイッチがオンの時(スタンバイ時)に、リモコンのスタンバイボタンを押すと、電源が入り、「AudioComm」の画面が表示されます(ディスクが入っていない場合は「ロード中」に続いて「ディスクなし」とディスプレイ左上に表示されます)。

※本機の電源スイッチがオフの時は、リモコンでの操作はできません。

ご注意

- リモコンの電源ボタンを押して電源を入れた場合は、起動に約5秒かかります。
- 使わない時は本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使わない時は、本機およびリモコンの充電池や乾電池も取り外してください。

ご使用前のご注意

◇本機は、停止状態が約３分間続くと、自動的にスクリーンセーバーモードになります。その後さらに10分経つとスタンバイ状態になります。

◇本機にディスクをセットすると自動的に読み込みを開始し、画面にタイトルなどが表示されます。自動再生せずに静止画を表示し続けると、モニターが画像焼けを起こし、ダメージとなることがありますので、再生／一時停止ボタンを押して画像を動画にしてください。静止画状態の場合、自動的に約３分でスクリーンセーバーモードに入ります(セットアップメニューの画面を除く)。

◇DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

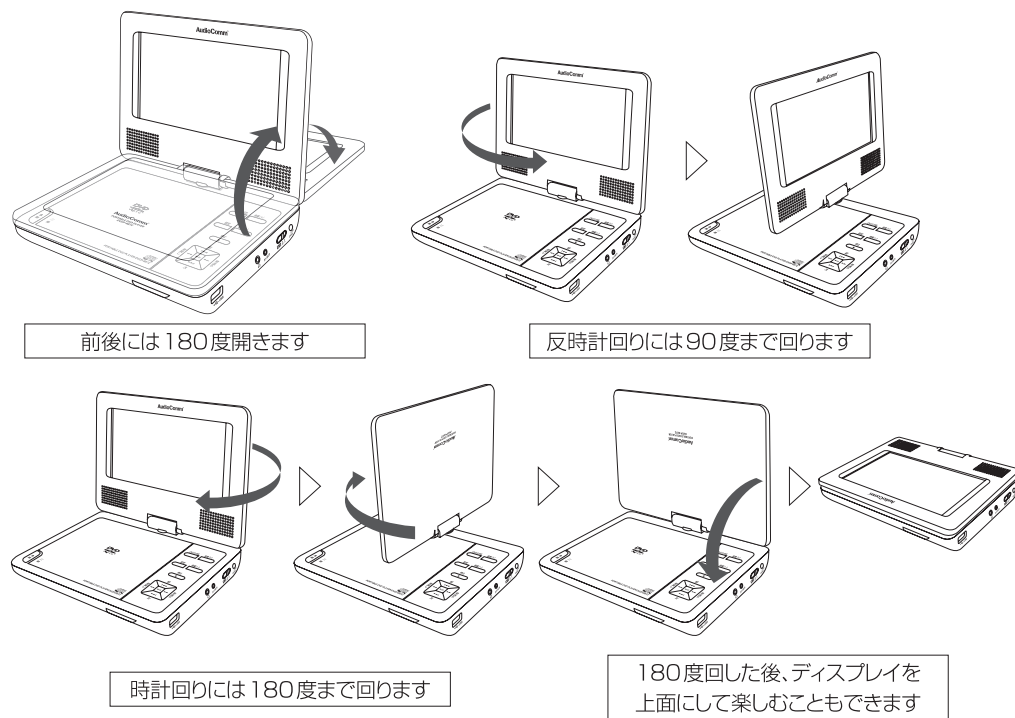
◇本取扱説明書内の本機画面のイラスト(マークや文字、それらの表示位置、内容など)が、再生するディスクによって一部異なる場合があります。

◇キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合、ディスクの読み込みは停止され、自動再生されません。

◇初めてご使用の際はディスクトレイを開けるとレンズ保護シートが取り付けられています。取り外してからご使用ください(取り外す際は、ピックアップレンズに触れたり、周辺のケーブルを傷つけたり抜いたりしないようにご注意ください)。

ディスプレイについて

ディスプレイの角度調節方法

本機のディスプレイは様々な角度に調整可能です。見やすい角度に調節してお楽しみください。

ご注意

●ディスプレイを調節する際は、本体を抑え、ゆっくり丁寧に動かしてください。急激な力を加えると、軸部などが破損するおそれがあります。
●ディスプレイが斜めの状態で左右に回転させると、本機を傷つけるおそれがあります。必ず垂直に立ててから回転させてください。
●開閉時・回転時に指などを挟まないようにご注意ください。

ディスプレイ（液晶画面）について

◇液晶画面は高精密な技術で作られています。希に黒い点が表れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません。
◇液晶画面上に物を載せたり、落としたりしないでください。また、手や肘をついて体重をかけたり、カッターなど鋭利な刃物で傷つけたりしないでください。故障の原因となります。

セットアップメニューの概要

本機はお買い上げのままで再生できますが、映像・音声の出力方式や、DVD、AUDIO CD、MP3の再生に関する様々なオプションの設定ができます。

本機またはリモコンの設定ボタンを押すと、セットアップメニュー画面が表示されます。その後、カーソルボタンと決定ボタンを使ってご希望のメニュー項目を設定できます。
※各項目の設定方法は、それぞれのページをご参照ください。

ヒント

セットアップメニューの設定途中で設定ボタンを押すと、設定操作を終了することができます。

ご注意

●セットアップメニューの設定はディスクやUSBフラッシュメモリーを装着しない状態で行ってください。セットした状態では、一部の項目の設定ができません。
●再生中にセットアップメニューの設定を行った場合、設定終了後はトップ画面に戻らず、自動的に再生が再開されます。
●ディスクによって記録されている内容が異なりますので、設定できない項目があります。

設定一覧

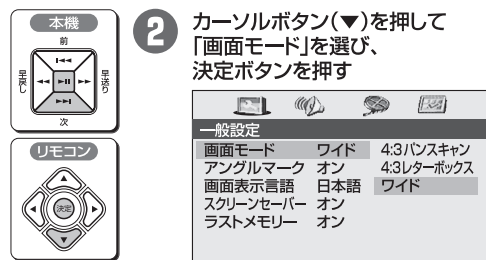
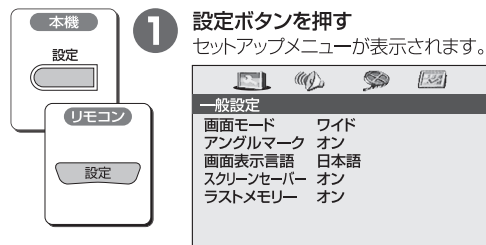
【一般設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
画面モード	P.19	ディスプレイの表示モードを設定します。	・4：3パンスキャン　・4：3レターボックス　・ワイド
アングルマーク	P.20	アングルマーク表示のオン／オフを設定します。	・オン　・オフ
画面表示言語	P.20	セットアップメニューの表示言語を設定します。	・英語　・日本語
スクリーンセーバー	P.21	スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。	・オン　・オフ
ラストメモリー	P.21	ラストメモリーのオン／オフを設定します。	・オン　・オフ

【音声設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
スピーカー設定	P.22	スピーカー出力の設定をします。	・LT ／ RT　・ステレオ

【映像設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
TV映像設定	P.22	外部テレビ接続時の画質調整をします。	シャープネス、明るさ、コントラストを調整
本機映像設定	P.23	本機ディスプレイの画質調整をします。	シャープネス、明るさ、コントラストを調整

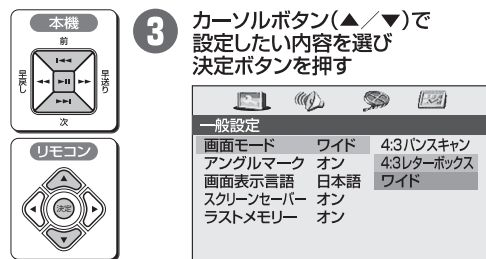
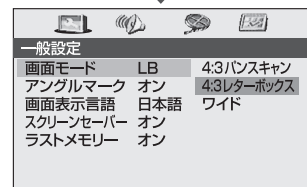
【その他の設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
テレビ信号方式	P.23	テレビの信号方式を設定します。 ※通常は変更しないでください。	・PAL TV　・マルチ ・NTSC TV
音声設定	P.24	音声の言語を設定します。	・英語　・日本語 ・フランス語　・ドイツ語 ・スペイン語　・ポルトガル語 ・ロシア語　・トルコ語 ・イタリア語
字幕言語	P.24	字幕の表示言語を設定します。	・英語　・日本語 ・フランス語　・ドイツ語 ・スペイン語　・ポルトガル語 ・ロシア語　・トルコ語 ・イタリア語
視聴制限	P.25	DVDソフトの視聴制限レベルを設定します。	KID SAF～ADULTまで8段階で設定
パスワード	P.26	パスワードの変更を行います。	※パスワード変更画面へ
初期化	P.27	本機の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。	

画面モードの設定方法

画面の表示モードを設定します。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▼)を押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

4：3パンスキャン

16：9の映像は、左右が切れた映像で表示します(パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します)。

4：3レターボックス

16：9の映像は、上下に帯のある映像で表示します。

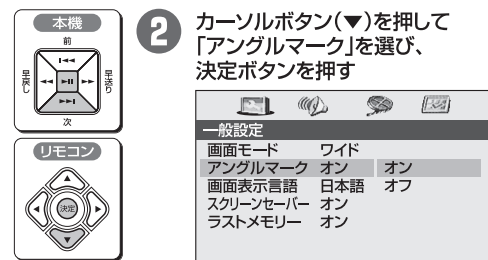
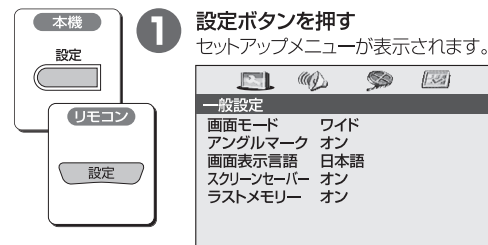
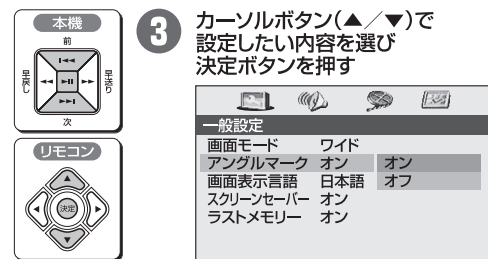
ワイド

ディスプレイ全体に映像を映します。

※通常のDVDの画像比率は16：9です。
※地デジ対応テレビ画像の比率は16：9です。

ヒント ●ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

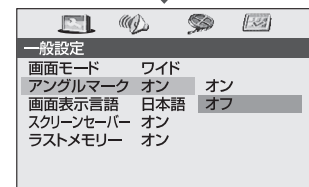
アングルマークの設定方法

アングルマーク表示のオン／オフを設定します。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▼)を押して「アングルマーク」を選び、決定ボタンを押す

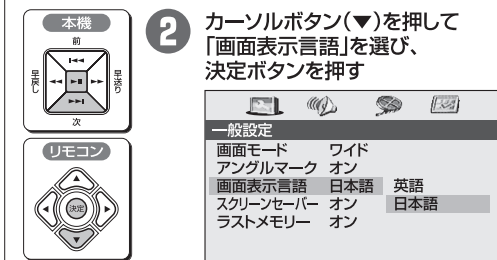
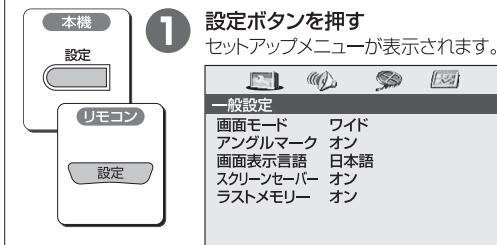
最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

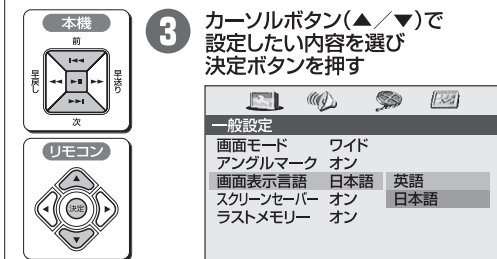
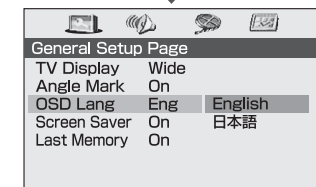
ご注意 ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。

画面表示言語の設定方法

設定画面の表示言語を選択できます。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

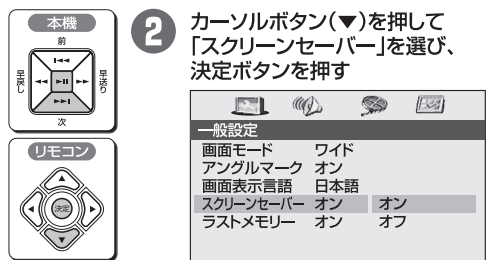
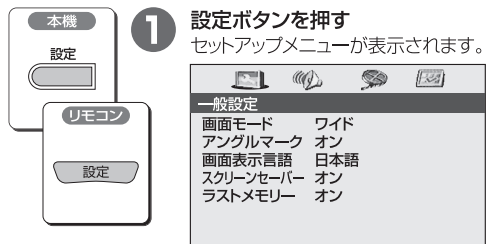
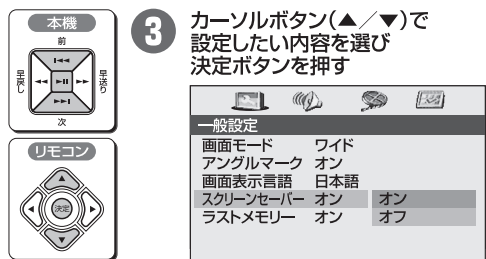
2 カーソルボタン(▼)を押して「画面表示言語」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、英語表示になります。

ヒント ●ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

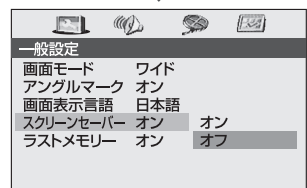
スクリーンセーバーの設定方法

スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▼)を押して「スクリーンセーバー」を選び、決定ボタンを押す

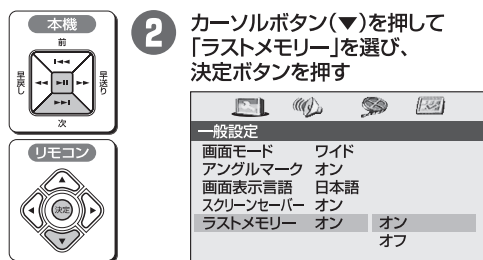
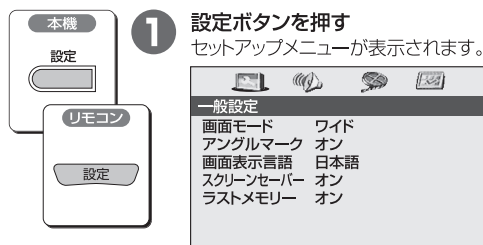
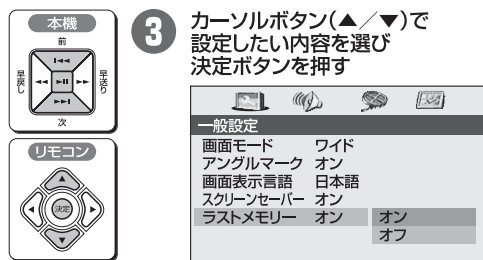
最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

ご注意 ディスプレイの焼き付きを防止する意味でも、スクリーンセーバーは「オン」の状態でご使用ください。

ラストメモリーの設定方法

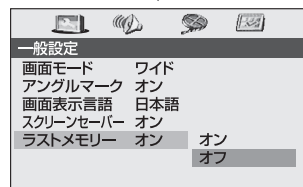
ラストメモリーをオンにしておくと、再生停止後、電源を切っても、次回再生時に、前回見ていた続きから再生を開始できます(ただし、停止ボタンを2回続けて押した場合は無効になります)。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▼)を押して「ラストメモリー」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

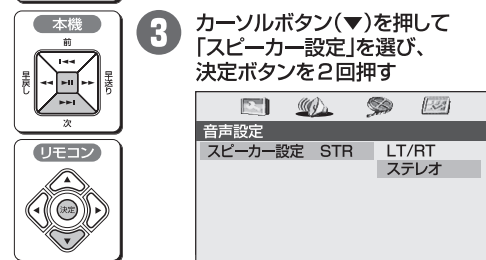
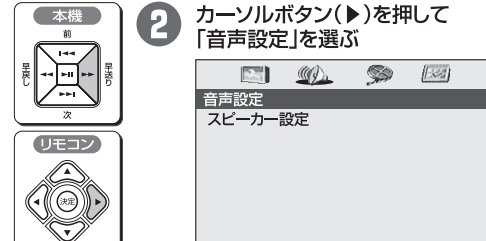
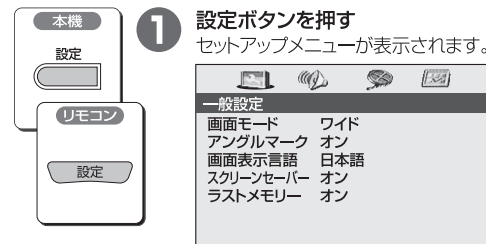
決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり設定が確定します。

ヒント ●ステップ2では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

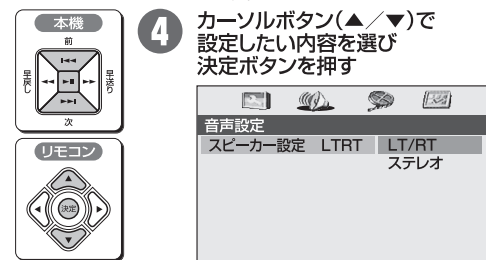
スピーカー設定の操作方法

スピーカーの出力方法を選ぶことができます。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

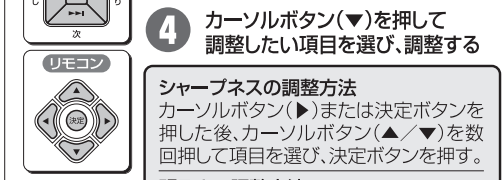
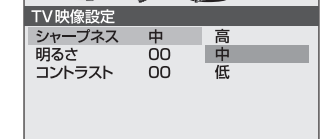
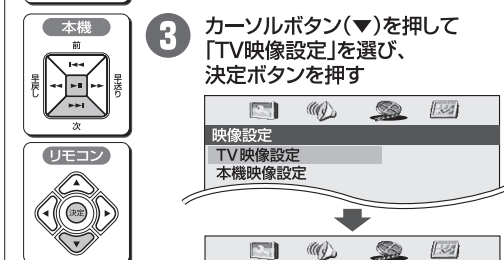
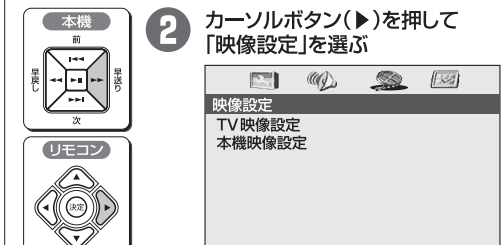
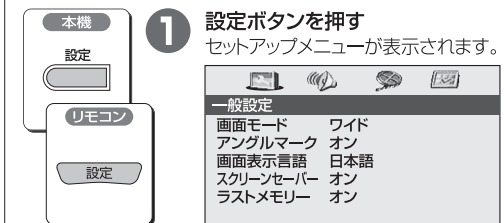
2 カーソルボタン(▶)を押して「音声設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(▼)を押して「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを2回押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを2回押すと緑色に変わります。

4 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。

LT/RT	左右独立して音声が出ます。
ステレオ	通常のステレオ音声で出力します。

TV映像設定の操作方法

外部テレビに映像を出力する際の画質を調整します。
※本機ディスプレイに映し出される映像には影響がありません。本機ディスプレイの画質を調整するには、次項の「本機映像設定」をご参照ください。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(▼)を押して「TV映像設定」を選び、決定ボタンを押す

TV映像設定

シャープネス	中	高
明るさ	00	中
コントラスト	00	低

4 カーソルボタン(▼)を押して調整したい項目を選び、調整する

シャープネスの調整方法
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▲／▼)を数回押して項目を選び、決定ボタンを押す。

明るさの調整方法
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(◀／▶)を数回押して数値を選び、決定ボタンを押す(+20〜−20の間で調整)。

コントラストの調整方法
カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(◀／▶)を数回押して数値を選び決定ボタンを押す(+16〜−16の間で調整)。

※ステップ4の明るさ・コントラストの調整ではカーソルボタン(◀)でひとつ前に戻る機能はありません。

ヒント ●ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

本機映像設定の操作方法

本機ディスプレイの画質を調整します。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選ぶ

❸ カーソルボタン(▼)を押して「本機映像設定」を選び、決定ボタンを押す

本機映像設定

シャープネス	中	高
明るさ	00	中
コントラスト	00	低

❹ カーソルボタン(▼)を押して調整したい項目を選び、調整する

シャープネスの調整方法

カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▲／▼)を数回押して項目を選び、決定ボタンを押す。

明るさの調整方法

カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(◀／▶)を数回押して数値を選び、決定ボタンを押す(+20〜−20の間で調整)。

コントラストの調整方法

カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押した後、カーソルボタン(◀／▶)を数回押して数値を選び決定ボタンを押す(+16〜−16の間で調整)。

※ステップ4の明るさ・コントラストの調整ではカーソルボタン(◀)でひとつ前に戻る機能はありません。

テレビ信号方式の設定方法

テレビの信号方式を設定します。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

❸ カーソルボタン(▼)を押して「テレビ信号方式」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

❹ カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。

ご注意

本機の映像信号出力は、日本のカラーテレビ方式であるNTSCにセットされています。本機ディスプレイはPAL TV、マルチ、NTSC TVのいずれでも再生できますが、外部テレビに映像を出力する際は、必ずマルチまたはNTSC TVに設定してください。

ヒント ●ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

音声設定の操作方法

音声の言語を設定します。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

❸ カーソルボタン(▼)を押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

❹ カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。言語一覧に▲▼がある場合、上下の欄外にさらに選択可能項目があることを示しています。

ご注意 **ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。**

字幕言語の設定方法

字幕の言語を設定します。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

❸ カーソルボタン(▼)を押して「字幕言語」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

❹ カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

カーソルボタン(▲／▼)を押すと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。その後、決定ボタンを押すと、緑色の帯が茶色に変わり、設定が確定します。言語一覧に▲▼がある場合、上下の欄外にさらに選択可能項目があることを示しています。

ご注意 **ディスクが対応していない場合、この設定は無効になります。**

ヒント ●ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

視聴制限の設定方法

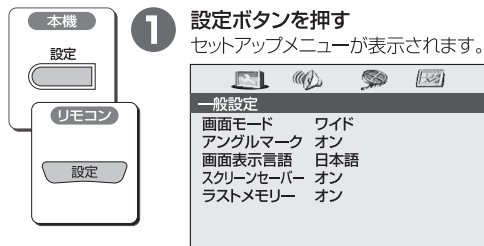
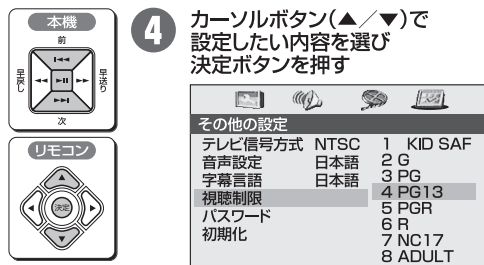
ディスクに応じて視聴制限をかけることができます。

1 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(▼)を押して「視聴制限」を選び、決定ボタンを押す

最初に現在の設定が茶色の帯で表示され、決定ボタンを押すと緑色に変わります。

4 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい内容を選び決定ボタンを押す

1 KID SAF	子供向け
2 G	制限なし
3 PG	親と一緒に子供視聴可能
4 PG 13	親と一緒に13歳以下視聴可能
5 PGR	成人と一緒に視聴可能
6 R	親、成人と一緒に17歳以下視聴可能
7 NC17	17歳以下は視聴不可
8 ADULT	成人向け

5 数字ボタンでパスワードを入力し、決定ボタンを押す。

入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると、「×」がすべて消えます。正しいパスワードが設定されると、パスワードの入力画面と「OK」の表示が下記のように変わります。

ボタンが浮き出しから掘り下げに

ヒント

- 視聴制限とは、小さなお子様や低年齢層に対する不適切なDVDの再生を制限するものです。ディスクによって子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴制限レベルが設定されているものがあります。本機は子供が設定を変えることのないよう、パスワードで設定を保護します。
- 1 KID SAF が最も制限が厳しく、子供向けDVDのみ視聴できます。8 ADULTは制限が緩くなります。
- **工場出荷時（初期設定）のパスワードは「5168」です。パスワードを変更したい場合は、次項の「パスワードの変更方法」を参照してください。**
- 誤って数字を入力した場合は、カーソルボタン(▼)を2回押して数字を消した後に入力し直すか、設定ボタンを押してトップ画面に戻り、ステップ1からやり直してください。
- 正しく設定が完了すると、ステップ4の画面になります。設定ボタンを押してトップ画面に戻ってください。
- ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します（ステップ5を除く）。

ヒント ●ステップ3では決定ボタンの代わりにカーソルボタン(▶)を押しても同様の操作ができます。●設定完了後、または操作を中止してトップ画面に戻るには、設定ボタンを押します。

パスワードの変更方法

パスワードを変更することができます。

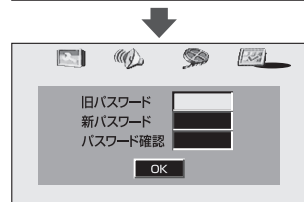
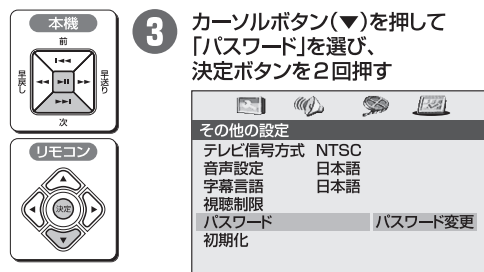
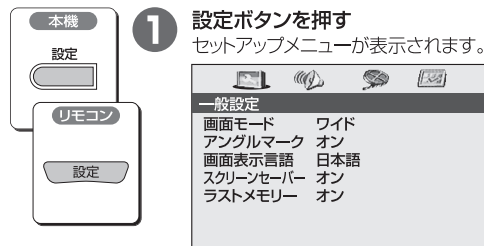
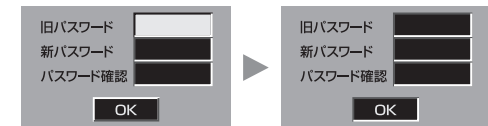
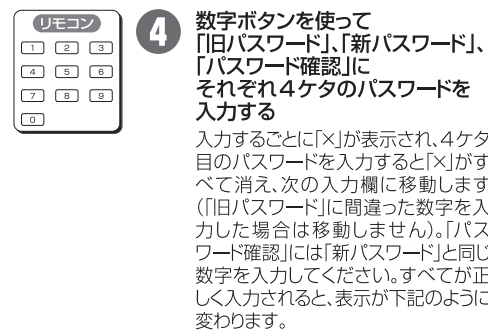
1 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

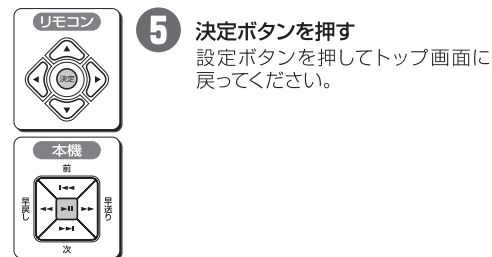
3 カーソルボタン(▼)を押して「パスワード」を選び、決定ボタンを2回押す

パスワードの設定画面が表示されます。

4 数字ボタンを使って「旧パスワード」、「新パスワード」、「パスワード確認」にそれぞれ4ケタのパスワードを入力する

入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると「×」がすべて消え、次の入力欄に移動します（「旧パスワード」に間違った数字を入力した場合は移動しません）。「パスワード確認」には「新パスワード」と同じ数字を入力してください。すべてが正しく入力されると、表示が下記のように変わります。

ヒント

- **工場出荷時（初期設定）のパスワードは「5168」です。**
- 誤って数字を入力した場合は、カーソルボタン(▼)を2回押して数字を消した後に入力し直すか、設定ボタンを押してトップ画面に戻り、ステップ1からやり直してください。

5 決定ボタンを押す

設定ボタンを押してトップ画面に戻ってください。

ご注意

- パスワードを忘れないようにご注意ください。
- 万一忘れてしまったときのために、メモしておくことをおすすめします。

変更日	パスワード

ヒント ●途中で設定操作を中止する場合は、設定ボタンを押してください（トップ画面に戻ります）。●ステップ3ではカーソルボタン(▶)を押し、続いて決定ボタンを押しても同様の操作ができます。

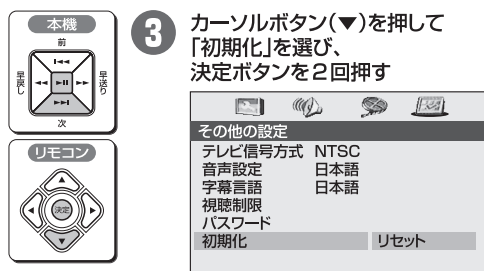
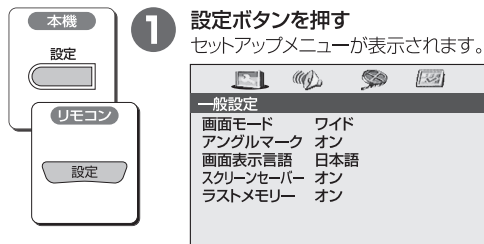
初期化の操作方法

本機を工場出荷時の状態に戻します。

1 設定ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(▶)を押して「その他の設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(▼)を押して「初期化」を選び、決定ボタンを２回押す

「リセットオン」の背景色が茶色から緑色に変わり、続いて初期化が行われます。初期化が終了すると、トップ画面に戻ります。

ご注意

初期化を行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので、十分ご注意ください。

ヒント

- ●途中で設定操作を中止する場合は、設定ボタンを押してください(トップ画面に戻ります)。
- ●ステップ３ではカーソルボタン(▶)を押し、続いて決定ボタンを押しても同様の操作ができます。
- ●ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。

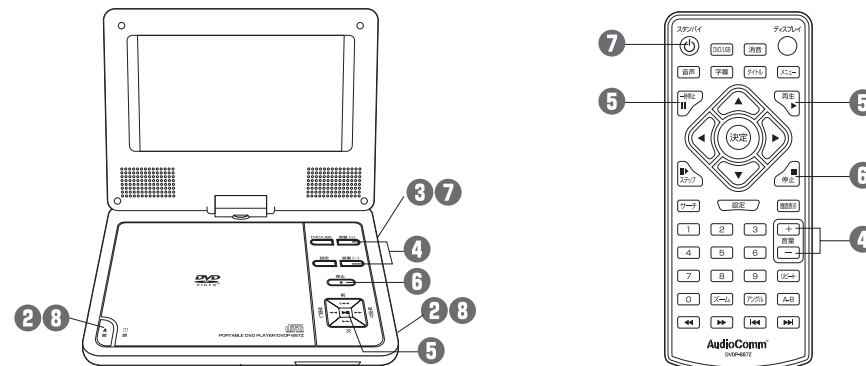
設定

映像再生時の基本操作

DVD-R/DVD-RW VRモード

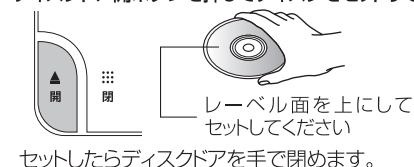
DVD、USBフラッシュメモリーに記録された映画・音楽映像・映像記録などを再生できます。

- ●本機は、DVD、USBフラッシュメモリーに記録された映画や音楽映像、お客様ご自身が撮影した動画等の再生ができます。**再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP10〜13をご確認ください。**
- ●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

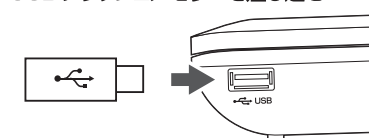
P7〜9を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続(または充電池／乾電池の装着)を正しく行ってから以下の操作をしてください。

1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

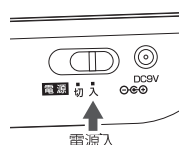
2 本機にメディアをセットする

DVDの場合

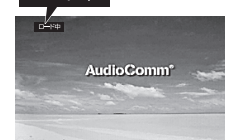
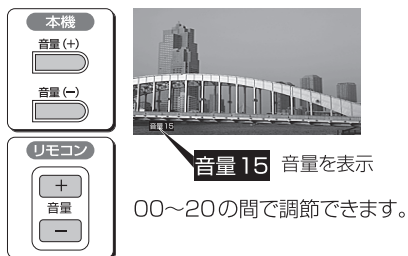
ディスクドア開ボタンを押してディスクをセットする

セットしたらディスクドアを手で閉めます。

USBフラッシュメモリーの場合

本機右側面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む

3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる

AudioCommのロゴが表示され、メディアの読み込みが始まります。

ロード中

「ロード中」と表示されて読み込みが始まり、その後自動的に再生が始まります。

ヒント

- ●USBフラッシュメモリーは電源を入れる前にセットしてください。DVDの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。
- ●メディアによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をカーソルボタン(▲／▼／▶／◀)で選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
- ●DVDの２層ディスクを再生中に、映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの１層と２層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。
- ●DVDとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD ／ USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。

映像を観る

次ページに続く

4 音量ボタン（＋／－）で音量を調節する

リモコン ＋ 音量 －

音量 15 音量を表示

00～20の間で調節できます。

5 再生中に一時停止するには

本機…再生／一時停止／決定ボタンを押す
リモコン…一時停止ボタンを押す

ヒント

再生が一時停止します。再生を再開するには、再生ボタン（または本機の再生／一時停止／決定ボタン）を押します。

※ディスクによっては、リモコンの決定ボタンで再生を再開するものもあります。

6 再生を停止するには

停止ボタンを押す

リモコン 停止

再生ボタンで続きスタート

ヒント

- 停止ボタンを1回押すと、トップ画面になります。この状態で再生ボタン（または本機の再生／一時停止／決定ボタン）を押すと、停止した時の続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生ボタン（または本機の再生／一時停止／決定ボタン）を押すと、ディスクの最初から再生を始めます。

7 電源を切る時は、リモコンのスタンバイ／電源ボタンを押すか本機の電源スイッチを「切」に合わせる

電源 切 入 DC9V

電源切

リモコン スタンバイ

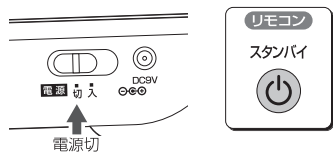
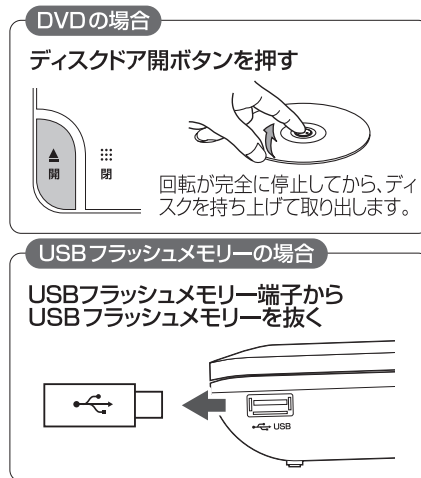
8 ディスクを取り出すには

DVDの場合

ディスクドア開ボタンを押す

回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子から
USBフラッシュメモリーを抜く

ご注意

- ディスクによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができない場合があります。その場合は、リモコン側で操作してください。
- DVDに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- 音楽ファイルや画像ファイルが、フォルダーによって階層化されたUSBフラッシュメモリーを本機にセットした場合、本機ではフォルダーを無視して、全ファイルを並列的にリスト化します。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 使わない時は本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使わない時は、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機およびリモコンの充電池／乾電池も取り外してください。

早送り・早戻し

DVD-R/DVD-RW VRモード

早送り

リモコン 再生 決定

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。

- ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン（本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン）を押します。

※早送り中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早送りはできません。

早送りボタンを押すごとに早送りのスピードが変わります（最大32倍）。

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

※通常の再生に戻る

早戻し

リモコン 再生 決定

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。

- ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン（本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン）を押します。

※早戻し中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早戻しはできません。

早戻しボタンを押すごとに早戻しのスピードが変わります（最大32倍）。

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

※通常の再生に戻る

スキップ（⏭／⏮）

DVD-R/DVD-RW VRモード

スキップ（⏭）

再生中にスキップボタン（⏭）を押すと、次のチャプターに進んで再生します。

この表示のあと次のチャプターの再生が始まります。

スキップ（⏮）

再生中にスキップボタン（⏮）を押すと、前のチャプターに戻って再生します。

この表示のあと前のチャプターの再生が始まります。

ステップ（コマ送り）

DVD-R/DVD-RW VRモード

再生中にステップボタンを押すと、コマ送り再生になり、押すたびに1コマずつ映像が送られます。元に戻すには、再生ボタンを押してください。

消音

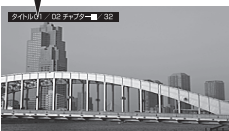
DVD-R/DVD-RW VRモード

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

サーチ

サーチ機能を使うと好きな場面を指定して再生することができます。**この機能は再生中のみ有効です。**

チャプター番号を指定して再生する

サーチボタンを**1回**押し、数字ボタンでチャプター番号を入力します。正しく入力すると自動的に指定したチャプターから再生が始まります。

1ケタの番号を入力する時は頭に0をつけて入力します。

タイトル内の時間を指定して再生する

サーチボタンを**2回**押し、数字ボタンで再生したい位置の時間を入力します。正しく入力すると自動的に指定したところから再生が始まります。

時分秒を続けて入力します。
例／ 56分5秒のところから再生したい場合は「05605」と入力

チャプター内の時間を指定して再生する

サーチボタンを**3回**押し、数字ボタンで再生したい位置の時間を入力します。正しく入力すると自動的に指定したところから再生が始まります。

時分秒を続けて入力します。
例／ 7分32秒のところから再生したい場合は「00732」と入力

ご注意

- ディスクにないチャプター番号や収録時間を越えた数字を入力すると「入力が正しくありません」と表示されます。もう一度確かめてから操作してください。
- ディスクにより機能しない場合があります。

リピート

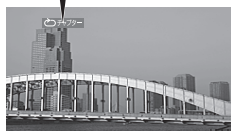
DVD-R/DVD-RW VRモード

リモコン リピート

再生中にリピートボタンを押すと、特定のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生することができます。

- リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。
- リピートを解除するには画面からリピート表示が消えるまで、リピートボタンを数回押してください。

チャプター　チャプターを繰り返し再生
▼
タイトル　タイトルを繰り返し再生
▼
オール　ディスク内のすべてを繰り返し再生

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

A-Bリピート

DVD-R/DVD-RW VRモード

A-Bボタンを操作すると、現在見ているシーンの2点間を指定して、繰り返し再生することができます。**再生中に操作してください。**

- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します(A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります)。

1 **A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す**

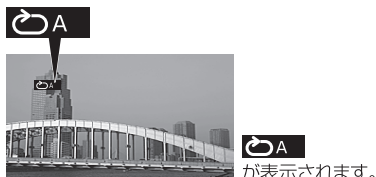
A

A
が表示されます。

2 **終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す**

AB

AB
が表示され、指定した範囲が繰り返し再生されます。

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

字幕

リモコン 字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。

- 再生中に字幕ボタンを押すたびに、字幕の内容が切り換わります。
- 字幕を消すには、字幕ボタンを数回押して「字幕なし」にします。

字幕01 ／ 02：日本語 → 字幕02 ／ 02：英語
字幕なし

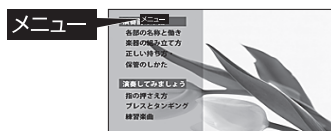
字幕の種類はディスクにより異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

ご注意

- ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。字幕言語数はディスクにより異なり、パッケージに字幕内容が表示されています(字幕が2種類の場合：(2))。
- DVDによっては、ディスク内のメニューで字幕設定をするものもあり、操作方法が異なります。DVD付属の取扱説明書をご確認ください。
- 電源を切ると、設定メニューの「その他の設定」>「字幕設定」で選択されている字幕言語に戻ります。
- 選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

メニュー

再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。

- 表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。
- ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

メニュー

ディスクメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

ご注意

- ディスクによっては、機能しないものもあります。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。

音声

DVD-R/DVD-RW VRモード

リモコン 音声

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、再生中に音声ボタンを押すとお好みの音声言語に切り換えることができます。

選択中の言語／含まれている音声言語数
音声種別(下記は5.1chの例)

音声 1/3：AC35.1ch 英語

言語(上記は英語の場合)

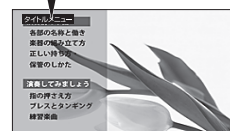
ご注意

- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージにその数が表示されています(音声言語数が2の場合：(2))。
- ディスクにより機能しない場合があります。
- 音声ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、設定メニューの「その他の設定」>「音声設定」で選択されている言語に戻ります。
- 二重音声を含んだDVD-R ／ DVD-RW(VRモード)の場合は主音声と副音声が切り換わります。

タイトル

再生中または停止中にタイトルボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。この機能はタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。

- 表示されたタイトルメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのタイトルを選び、決定ボタンを押すと、再生が始まります。

タイトルメニュー

タイトルメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

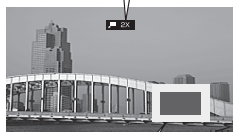
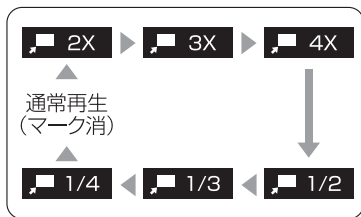
ご注意

- ディスクによっては機能しないものもあります。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。
- DVDディスクは通常「タイトル」と呼ばれるセクションに大分割され、さらに各タイトルは「チャプター」と呼ばれるセクションに小分割されています。オーディオCDやビデオCDは「トラック」と呼ばれるセクションに分割されています。本機は「タイトル」を選んで再生することができます。

ズーム

リモコン ズーム

再生中または一時停止時にズームボタンを押すと、映像を拡大したり、縮小したりすることができます。

2X ▶ 3X ▶ 4X
通常再生（マーク消）
1/4 ◀ 1/3 ◀ 1/2

拡大時のみ表示され、カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で拡大部分を移動させることができます。

ヒント

●ズームボタンによる映像の拡大や縮小は常に画面の中心に対して行われます。

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

アングル

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

アングルマークが表示されている間のみ、この機能は有効です。

ご注意

●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。（アングル数が2の場合：2 1）
●アングルボタンを押した時に、無効マーク（⊘）が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
●アングルマークが反応しない時は、設定メニューの「一般設定」>「アングルマーク」がオンになっているか確認してください。
●アングルマーク表示は約5秒後に消えます。
●ディスクによっては、アングルマークが表示されていても切り換えができなかったり、別アングル映像の収録が部分的で限定されている場合があります。

画面表示

DVD-R/DVD-RW VRモード

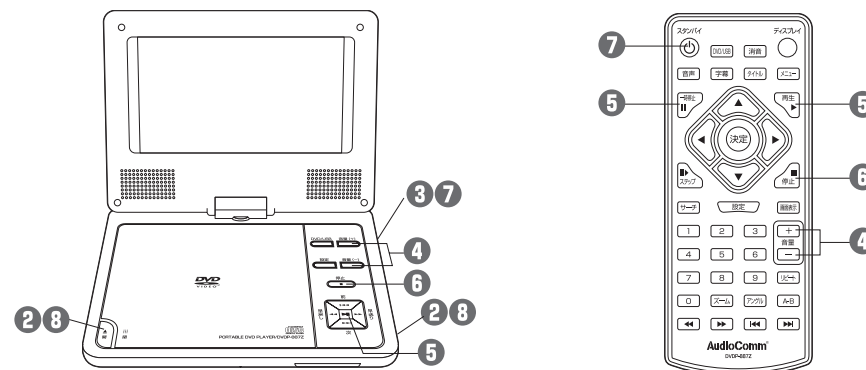
再生中に画面表示ボタンを押すと、そのDVDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

さらにもう1回押すと「表示なし」になり、数秒後に消えます。

音楽／音声再生時の基本操作

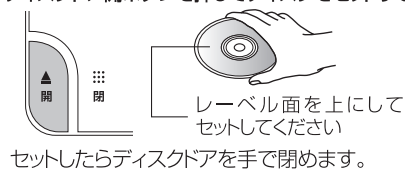
オーディオCDやCD-R/RW、USBフラッシュメモリーに記録された音楽や音声などを再生できます。

●**再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP10〜13をご確認ください。**
※対応する形式であっても、すべてのファイル、USBフラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。
●本書内の本機画面のイラスト（マークや文字、マークや文字の場所、内容など）は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P7〜9を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続（または充電池／乾電池の装着）を正しく行ってから以下の操作をしてください。

1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

2 本機にメディアをセットする

CDの場合

ディスクドア開ボタンを押してディスクをセットする

レーベル面を上にしてセットしてください

セットしたらディスクドアを手で閉めます。

USBフラッシュメモリーの場合

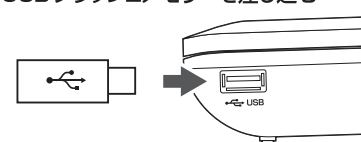
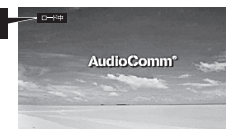
本機右側面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む

3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる

AudioCommのロゴが表示され、メディアの読み込みが始まります。

電源入

「ロード中」と表示されて読み込みが始まり、その後自動的に再生が始まります。

ヒント

●USBフラッシュメモリーは電源を入れる前にセットしてください。CDの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。
●CDとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD／USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。

トラック 01/16
00 : 01

AudioComm

オーディオCDの画面例

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーの画面例

次ページに続く

4 音量ボタン(＋／－)で音量を調節する

音量を表示

00～20の間で調節できます。

5 再生中に一時停止するには

本機…再生／一時停止／決定ボタンを押す
リモコン…一時停止ボタンを押す

ヒント

再生が一時停止します。再生を再開するには、再生ボタン(または本機の再生／一時停止／決定ボタン)を押します。

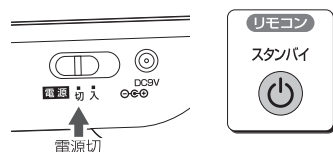
※ディスクやメディアによっては、リモコンの決定ボタンで再生を再開するものもあります。

6 再生を停止するには

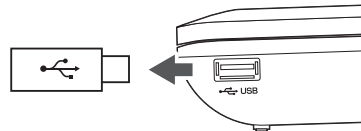
停止ボタンを押す

ヒント

- 停止ボタンを1回押すと再生が止まりますが、この状態で再生ボタン(または本機の再生／一時停止／決定ボタン)を押すと、停止した時の続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生ボタン(または本機の再生／一時停止／決定ボタン)を押すと、ディスクの最初から再生を始めます。
- CD-R/RWの場合は、1回の停止操作で完全停止になります。

7 電源を切る時は、
リモコンのスタンバイ／電源ボタンを押すか
本機の電源スイッチを「切」に合わせる

8 ディスクを取り出すには

CDの場合

ディスクドア開ボタンを押す

回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子から
USBフラッシュメモリーを抜く

ご注意

- ディスクやメディアによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができない場合があります。その場合は、リモコン側で操作してください。
- 自動で再生が始まらない場合は、再生ボタン(または本機の再生／一時停止／決定ボタン)を押して、再生を開始してください。
- ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 音楽ファイルや画像ファイルが、フォルダーによって階層化されたCD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを本機にセットした場合、本機ではフォルダーを無視して、全ファイルを並列的にリスト化します。
- 本機での再生に適していないディスクを挿入した場合は再生されません。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 使わない時は本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使わない時は、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機およびリモコンの充電池／乾電池も取り外してください。

ヒント CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを再生する時の画面表示例

MP3の音楽ファイルを含むディスクを挿入した時には、下図のように表示されます。

- 再生、一時停止、停止の操作は、オーディオCDと同じです(P.34~P.35参照)
- 曲を選んで再生するには、カーソルボタン(▲／▼)でカーソルをファイル名に合わせて、決定ボタンを押します。

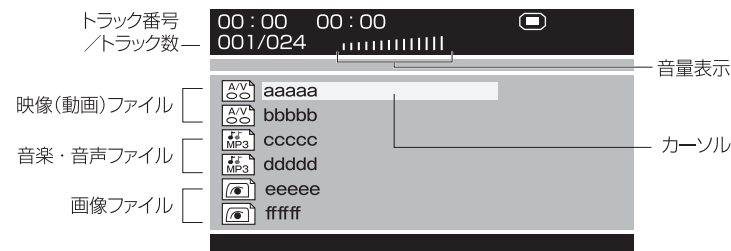
ご注意

ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されません。すべて半角英数字を使用してください(ファイル名は半角英数字10文字以内)。

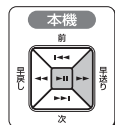
ヒント 同じメディア内に映像、音楽・音声、画像ファイルが混在する場合

同じメディア内に、映像や音楽・音声、画像ファイルが混在する場合、ロード後の再生優先順位は映像→音楽・音声→画像となります。

- ご希望のファイルが再生されない場合は、停止ボタンを2回または1回押し、続いて表示されるファイルリスト(下記参照)からカーソルボタン(▲／▼)で希望のファイル名を選んで、決定ボタンまたは再生ボタンを押します。

ご注意

- ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されません。すべて半角英数字を使用してください(ファイル名は半角英数字10文字以内)。
- ファイル名と共に表示されるアイコンは、ファイル形式によって異なる場合があります。
- 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン(▼)によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン(▼)を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

早送り・早戻し

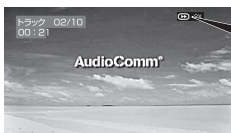
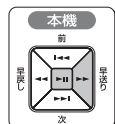
早送り

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。

●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン(本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン)を押します。

※オーディオCD(2倍速早送り時)のみ音声も断片的に再生されます。

※トラックをまたぐ早送りはできません。

オーディオCD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

※通常の再生に戻る

早戻し

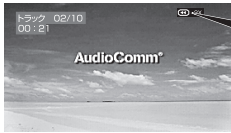
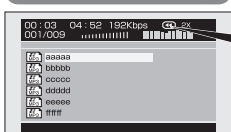
再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。

●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●通常の再生に戻るには、再生ボタンまたは決定ボタン(本機の場合は再生／一時停止／決定ボタン)を押します。

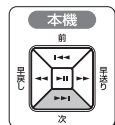
※オーディオCD(2倍速早戻し時)のみ音声も断片的に再生されます。

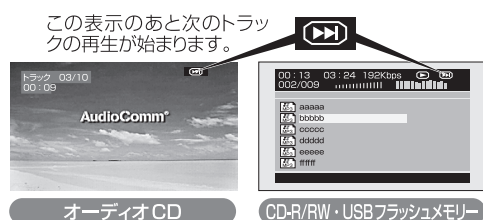
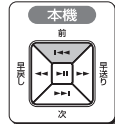
※トラックをまたぐ早戻しはできません。

オーディオCD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

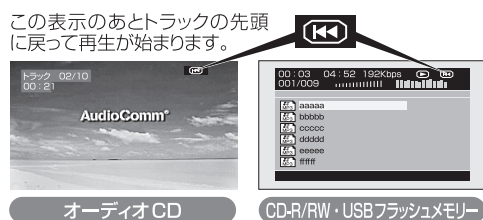
※通常の再生に戻る

スキップ(⏭／⏮)

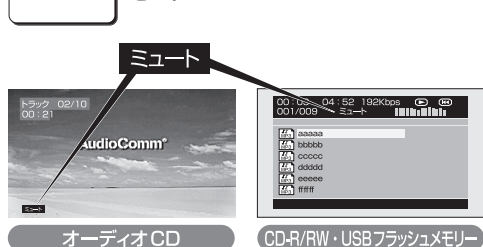
スキップ(⏭)

再生中にスキップボタン(⏭)を押すと、次のトラックに進んで再生します。

この表示のあと次のトラックの再生が始まります。

オーディオCD　CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

スキップ(⏮)

再生中にスキップボタン(⏮)を押すと、トラックの先頭に戻って再生します。ディスクによっては、一つ前のトラックに戻って再生するタイプもあります。

この表示のあとトラックの先頭に戻って再生が始まります。

オーディオCD　CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

消音

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

オーディオCD　CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

サーチ

サーチ機能を使うと好きな場所を指定して再生することができます。

オーディオCDでのサーチ方法

再生中、再生一時停止中、停止中の各状態によって使用できるサーチ機能が異なります。
サーチボタンを押す回数や入力する内容が異なりますので、目的に応じて使い分けてください。

1 サーチボタンを押す

本機の動作状況や機能に応じた回数を押します(右図参照)。

2 数字ボタンを使って再生を開始したい位置の時間やトラック番号を入力する

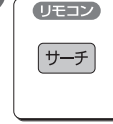
サーチモードに応じた数字を入力します(右図参照)。

ディスクサーチ： :	トラックサーチ： :	トラックNo.を選択：__/XX
ディスク全体の中での位置(時間)を指定して再生	再生中または再生一時停止中のトラック内での位置(時間)を指定して再生	トラック番号を指定して再生 ※「XX」は総トラック数
再生中、再生一時停止中または停止中にサーチボタンを**1回**押す	再生中、再生一時停止中にサーチボタンを**2回**押す ※停止中は使用不可	再生中、再生一時停止中にサーチボタンを**3回**押すまたは停止中に**2回**押す
再生開始位置の時間を入力 例／ 45分8秒のところから再生したい場合は「4508」と入力	**再生開始位置の時間**を入力 例／ 3分05秒のところから再生したい場合は「0305」と入力	**再生したいトラック番号**を入力 例／ 8番目のトラックから再生したい場合は「08」と入力

●分・秒・トラック番号のいずれも、1ケタの数字を入力するときは、頭に「0」をつけてください。
●正しく入力されると自動的に指定した場所から再生を始めます。
●ディスクやトラックの収録時間より大きな数字を入力した場合や、ディスクにないトラック番号を入力すると「入力が正しくありません」と表示されます。
●サーチボタンを押さずに、直接数字ボタンを押すと、「トラックNo.を選択」と同じサーチモードになります。

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーでのサーチ方法

トラック番号によるサーチのみ有効です。

1 サーチボタンを押す

画面左のトラック番号表示が入力ボックスに変わります。

2 数字ボタンを使って再生を開始したいトラック番号を入力する

3ケタで入力します。
例／ 5は「005」、12は「012」と入力します。

●正しく入力されると自動的に指定した場所から再生を始めます。
●ディスクにないトラック番号を入力した場合は無効になります(ステップ1の入力ボックスが消えますので、改めて正しいトラック番号を3ケタで入力してください)。
●サーチボタンを押さずに直接数字ボタンを押してもサーチモードになります。

リピート

リモコン　リピート

再生中または停止中にリピートボタンを押すと、トラック（曲）を繰り返し再生することができます。リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。

オーディオCD

トラック　再生中のトラックを繰り返し再生

▼

オール　ディスク全体を繰り返し再生

▼

リピート解除（通常の再生モード）

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

ランダム
メディア内のトラックをランダムに再生

▼

シングル再生
選択したトラック（または再生中のトラックを１回再生

▼

シングルリピート
選択したトラック（または再生中のトラック）を繰り返し再生

▼

オールリピート
メディア内の全トラックを繰り返し再生

▼

オール
メディア内の全トラックを１回再生（通常の再生モード）

A-Bリピート

A-Bボタンを操作すると、現在見ているシーンの２点間を指定して、繰り返し再生することができます。再生中に操作してください。

- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します（A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります）。

❶ A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す

オーディオCD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

❷ 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す

オーディオCD

指定した範囲が繰り返し再生されます。

音声切換　オーディオCDのみ有効

リモコン　音声

再生中に音声ボタンを押すと、出力音声を切り換えることができます。
音声ボタンを押すたびに、下図のように変わります（再生時以外は変更できません）。

オーディオCD

左モノラル	L音声をモノラル出力
右モノラル	R音声をモノラル出力
ミックスモノラル	L/Rの音声をミックスしてモノラル出力
ステレオ	ステレオ出力

画面表示

再生中または一時停止中に画面表示ボタンを押すと、再生に関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

オーディオCD

シングル再生時間
再生中のトラックの再生時間を表示

▼

シングル残り時間
再生中のトラックの残り時間を表示

▼

トータル再生時間
ディスク全体の再生時間を表示

▼

トータル残り時間
ディスク全体の残り時間を表示

※上記の表示は約５秒後に消えます。

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

00：03　04：52　192Kbps
001/009

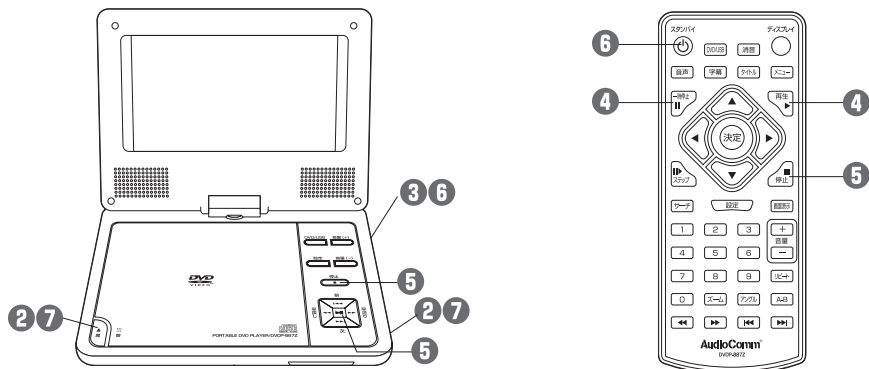
画面表示ボタンを押すたびに、
画面上部の表示内容が切り換わります。

00：03　04：52　ファイルリスト
001/009　オール

画像再生時の基本操作

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーに記録された写真を再生できます。

●再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP10～13をご確認ください。
●本書内の本機画面のイラスト（マークや文字、マークや文字の場所、内容など）は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P7～9を参照し、リモコンの準備、家庭用コンセントへの接続（または充電池／乾電池の装着）を正しく行ってから以下の操作をしてください。

1 ディスプレイを見やすい角度に調節する

2 本機にメディアをセットする

CD-R/RWの場合

ディスクドア開ボタンを押してディスクをセットする

セットしたらディスクドアを手で閉めます。

USBフラッシュメモリーの場合

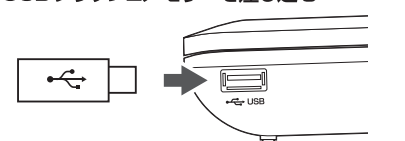
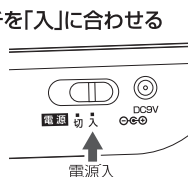
本機右側面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む

3 本機の電源スイッチを「入」に合わせる

AudioCommのロゴが表示され、メディアの読み込みが始まります。

「ロード中」と表示されて読み込みが始まり、その後自動的に再生が始まります。

●本機では同一メディア内の画像ファイルが自動的にスライドショー再生されます（約5秒間隔で切り換わります）。
●スライドショー再生中にリモコンのボタン操作により様々な表示切換ができます（次ページ参照）。

ヒント

●USBフラッシュメモリーは電源を入れる前にセットしてください。CDの場合は電源を入れた後にセットしてもかまいません。
●CD-R/RWとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD／USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。

4 再生時の様々な表示切換

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
⏭	次の画像へ	▲	表示中の画像を上下反転	ズーム ↓ ⏩	表示中の画像をズームイン さらに ▲▼◀▶ でズーム表示部分を移動
⏮	前の画像へ	▼	表示中の画像を左右反転		
一時停止 Ⅱ	スライドショーを一時停止（もう一度押すと再開）	◀	表示中の画像を反時計回りに90°回転	ズーム ↓ ⏪	表示中の画像をズームアウト
再生 ▶	スライドショーを再開	▶	表示中の画像を時計回りに90°回転		

5 再生を停止するには停止ボタンを押す

停止ボタンを1回押すと…

サムネール表示になります。

カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）でサムネールや項目を選び、再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、その画像からスライドショーを再開します。

表示中のサムネールの最初からスライドショーを開始

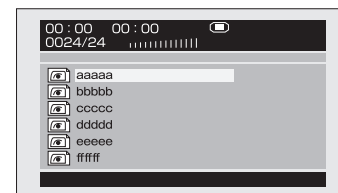
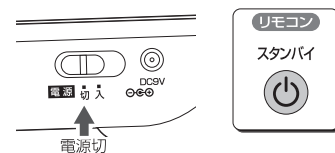
ボタン操作案内を表示

ひとつ前のサムネール一覧を表示

次のサムネール一覧を表示

停止ボタンを2回押すと…

リスト表示になります。

カーソルボタン（▲／▼）で画像ファイル名を選び、再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、その画像からスライドショーを再開します。

6 電源を切る時は、リモコンのスタンバイボタンを押すか本機の電源スイッチを「切」に合わせる

7
ディスクを取り出すには

CD-R/RWの場合

ディスクドア開ボタンを押す

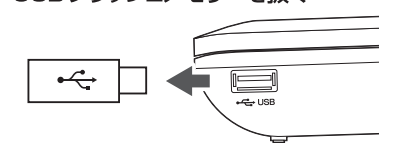
回転が完全に停止してから、ディスクを持ち上げて取り出します。

USBフラッシュメモリーの場合

USBフラッシュメモリー端子からUSBフラッシュメモリーを抜く

画像を見る

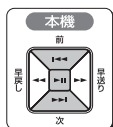
画像を見る

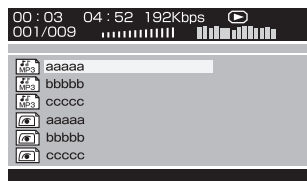
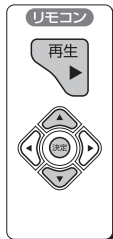
次ページに続く

画像再生時の基本操作(つづき)

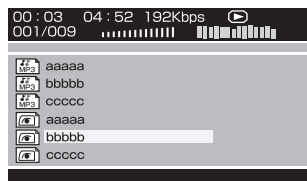
ご注意

●ディスクやメディアによっては、一部の機能において本機側でのボタン操作ができない場合があります。その場合は、リモコン側で操作してください。
●自動で再生が始まらない場合は、再生ボタン(または本機の再生/一時停止/決定ボタン)を押して、再生を開始してください(ディスクやメディアによっては、リモコンの決定ボタンで再生を開始するものもあります)。
●ディスクに汚れやキズがあると、再生が停止することがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
●音楽ファイルや画像ファイルが、フォルダーによって階層化されたCD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを本機にセットした場合、本機ではフォルダーを無視して、全ファイルを並列的にリスト化します。
●本機での再生に適していないディスクを挿入した場合は再生されません。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
●使わない時は本機の電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使わない時は、家庭用コンセントからACアダプターを抜き、本機およびリモコンの充電池/乾電池も取り外してください。

ヒント 音楽ファイルを再生しながら、画像を見る

同一メディア内の画像と音楽を同時に再生できます。

1 音楽ファイルを再生する

「音楽/音声再生時の基本操作」(P34〜36)を参照してください。

音楽ファイルを選択して再生

2 同一メディア内の画像ファイルを再生する

ファイルリスト内の画像ファイルをカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選び、決定ボタンまたは再生ボタンを押すと、スライドショー再生がはじまります。

画像ファイルを選択して再生

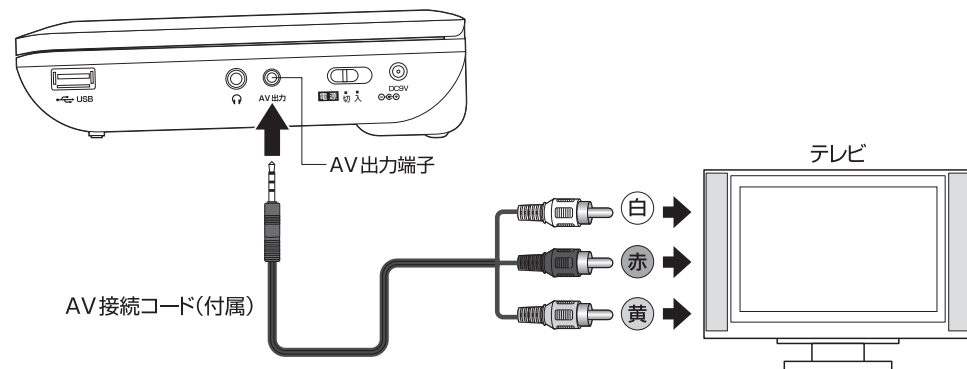
●同時に再生できるのは、同一のメディア内のみです(異なるメディアの音楽ファイルと画像ファイルを同時に再生することはできません)。
●画像ファイルの再生を開始すると、ボタン操作は画像に対する操作となります。前ページのステップ4〜5を参照して操作をしてください。
●画像ファイルのスライドショー再生中は音楽ファイルを操作することはできません。停止ボタンを2回押してファイルリスト表示まで戻ると、音楽ファイルの操作ができます。
●音楽・画像のそれぞれにリピートモードを設定できます。

外部のテレビと接続して使う

本機で再生する映像や音楽・音声、画像を外部のテレビに出力して楽しむことができます。

接続方法

本機、外部テレビ双方の電源を切ってから行ってください。

付属のAV接続コードを使って、赤色(右)・白色(左)・黄色(映像)のプラグを、テレビ側のビデオ入力端子(音声左・音声右・映像)に、それぞれ接続します。また反対側のプラグを本機のAV出力端子に接続します。

操作方法

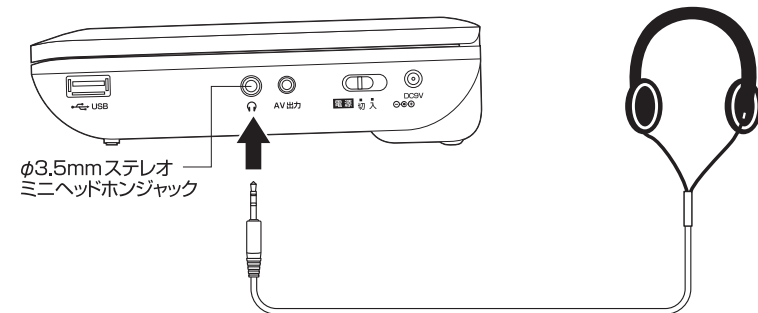
外部テレビと本機双方の電源を入れます。その後、テレビは本機からの接続ポートに合わせて入力切換を行ってください。

リモコンのディスプレイボタンを押すと、本機のディスプレイ表示をオフにすることができます。
もう一度押すと、再表示されます。

ご注意

●リモコンの消音ボタンを押して本機からの音声出力を消した後、テレビの音量を調節してお楽しみください。
●本機の音量調整が低いまま消音ボタンを押し、テレビ側で音量を大きくすると、本機からの再生を止め、通常のテレビ視聴に戻った際、突然大きな音が出る場合があります。本機での再生を終了する時には、必ずテレビの音量を低く設定し直してください。

ヘッドホンで聴く時は

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機右側面にあるφ3.5mmステレオミニヘッドホンジャックにつないでください。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ヘッドホンを使用する時は、本機の音量を下げた状態で接続してください。また使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・ACアダプターが本機側、家庭用コンセント側ともに正しく接続されていますか? ・本機の充電池／乾電池が消耗していませんか?	→接続を再確認する →新しい乾電池と交換する。充電池の場合は充電をする

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
字幕が表示されない	・字幕の入ったディスクのみ表示します。 ・セットアップメニューの字幕言語の設定が「オフ」になっていませんか?(P.24)	→字幕が入っているかどうか確認する →「オン」に変更する
すべての設定を買い上げ時に戻したい	―	→セットアップメニューの「初期化」を実行する(P.27)
再生できない またはすぐに停止する	・寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。 ・ディスクが汚れていませんか? ・記録済みのディスクが入っていませんか? ・ディスクが正しくセットされていますか? ・視聴制限の設定が有効になっていませんか? ・2層ディスクが1層から2層に切り換わったような感じではありませんか? ・原因がはっきりしない場合	→1～2時間放置する →P.48を参考にディスクをクリーニングする →再生できるディスクかどうか、確認する →ディスクを正しくセットする →視聴制限の設定で規制レベルを変更する →映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません →1.停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 2.本機の電源を切り、ACアダプターを本機側、家庭用コンセント側ともに抜き、再度差し込んでから再生してみる
DVDやCDの再生ができない	・記録されているフォーマットが未対応、または本機で再生できるリージョン番号でないディスクではありませんか? ・ディスクに汚れやキズが付いていませんか?	→ディスクを確認する →P.48を参考にディスクをクリーニングする、または交換する
市販のDVDを再生しているときに言語ボタンを押しているのに、音声が日本語に切り換わらない	・DVDビデオに日本語の音声が入っていますか? ・言語ボタンでの切換はディスクによっては制限されている場合があります。	→ディスクを確認する →DVD側のメニュー画面から、音声を切り換える ―
各ボタン操作ができない	・特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ・落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。	― →本機の電源を一度切／入する または電源を切って、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる
リモコン操作ができない	・リモコンに乾電池は入っていますか? ・リモコンの乾電池が消耗していませんか? ・本機のリモコン受光部に向けて操作していますか? ・リモコン受光部に強い光が当たっていませんか? ・リモコンと受光部が遠すぎませんか? ・リモコンと受光部の間に障害物がありませんか? ・乾電池が正しく入っていますか?	→乾電池を入れる →乾電池を新しくする →受光部に向けて操作する →光が当たらないよう向きを変える →約4m以内、上下左右30度以内のところで操作する →障害物を取り除く →乾電池の⊕⊖の向きを確認する

映像・画像に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
映像・画像が出ない	・ディスクは正しく装着されていますか? ・映像や画像の出ないディスクが入っていませんか? ・メディアを正しく選択していますか? ・(充電池／乾電池使用時)充電池／乾電池が消耗していませんか? ・ファイルのフォーマットや拡張子は適していますか? ・映像や画像のサイズが大きすぎませんか?最大解像度を超える映像や画像は、再生時に時間がかかったり、再生できない場合があります。 ・エンコードソフトが本機での再生に適さないタイプかもしれません。 ・自分で録画したDVDが再生できない	→セッティングを確認する →ディスク内容を再確認する 再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する →DVD ／ USB切換ボタンを確認する →新しい乾電池と交換する。充電池の場合は充電をする →P.10～13を参照してファイルフォーマットや拡張子を確認する →画像の場合は市販の編集ソフト等でファイルサイズを小さくしてから再生する →エンコードソフトを変えて試してみる(変換方法について弊社ではサポートしかねますのでご了承ください) →ファイナライズされているかを確認する
映像がゆれる	・(充電池／乾電池使用時)充電池／乾電池が消耗していませんか?	→新しい乾電池と交換する。充電池の場合は充電をする
映像や画像にノイズやゆがみ・乱れが出る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか? ・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか?	→ディスクを確認する →本機から離して使用する
画面の縦方向が縮小している	・セットアップメニューの画面モードの設定は正しいですか?	→ワイドに設定変更する(P.19参照)
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある場合 ・天候等によって受信状態が悪い状態で録画した場合 ・画像レート設定が近い状態で録画した場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・ディスク上の物理エラーによる場合	―

音楽・音声に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
音が出ない 再生できない	・音量を最小にしていませんか? ・「消音」したままになっていませんか? ・ヘッドホンが差し込まれていませんか? ・メディアを正しく選択していますか? ・ファイルのフォーマットや拡張子は適していますか? ・エンコードソフトが本機での再生に適さないタイプかもしれません。	→音量レベルを確認する →消音を解除する →ヘッドホンを抜く →DVD ／ USB切換ボタンを確認する →P.10～13を参照してファイルフォーマットや拡張子を確認する →エンコードソフトを変えて試してみる(変換方法について弊社ではサポートしかねますのでご了承ください)
音が飛ぶ、雑音が入る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか? ・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか?	→ディスクを確認する →本機から離して使用する

リファレンス

用語解説

用　語	説　明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.10の「CPRMとは?」の項を参照してください。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像／音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤー DVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
VRモード	P.10の「ビデオモード、VRモードとは?」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
視聴制限 (パレンタルロック)	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定や視聴制限(ペアレンタルレベル)などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード (再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

よくあるご質問

Q 5.1ch音声を楽しむことはできますか?

A 本機では5.1chには対応しておりません。

Q 海外でも使用できますか?

A 国内使用のみです。

Q 病院で使えますか?

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。

Q 海外で買ったDVDビデオを再生できますか?

A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

リファレンス

主な仕様

外部電源	専用ACアダプター　入力：AV100V 50/60Hz 0.35A　　出力：DC9V⎓1A DC9V　単3形充電池またはアルカリ乾電池　6本(別売)
パネル	7型ワイドTFT液晶(回転式)
パネル解像度	480×234ピクセル
信号方式	NTSC ／PAL
接続端子	AV出力ジャック(映像／音声)、φ3.5mmステレオミニヘッドホンジャック、USBフラッシュメモリー端子
連続再生時間	アルカリ乾電池：約2時間　　ニッケル水素充電池：約3時間
使用動作環境	温度：5〜35℃　湿度：20〜80%
スピーカー定格出力	1W×2(r.m.s.)
外形寸法	幅205×高さ48×奥行156mm(突起物を除く)
質量	約675g(乾電池含まず)
付属品	ACアダプター、リモコン、AV接続コード(RCA)、取扱説明書(保証書付)

※連続再生時間は目安であり、使用条件や乾電池の状況などにより異なります。ディスクの再生時間を確認してからご使用ください。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

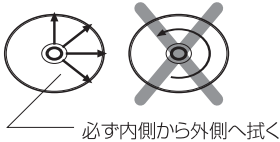
お手入れのしかた

お手入れの際には必ず電源の配線をはずしてください。感電の原因となることがあります。

キャビネットの清掃

●キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
●化学ぞうきんを使う時は、その注意書きに従ってください。
●液晶画面は乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。濡れた布等は、内部に水が入り故障の原因となりますので使わないでください。

コンパクトディスクのお手入れ

本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。
●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。
●キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
●他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書に従ってください。

必ず内側から外側へ拭く

USBフラッシュメモリーのお手入れ・保管について

●USBフラッシュメモリーの接続部に指紋やホコリなどの汚れが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このような時は、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品、および静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
●以下のような場所での保管は避け、キャップカバー等が付属している場合は必ずカバーを付けて保管してください。
　・高温の場所　・直射日光の当たる場所　　・極端に温度の低い場所
　・浴室や加湿器の近くなど湿度の高い場所　・ホコリや砂塵など浮遊物が多い場所
●ご使用に当たっては、USBフラッシュメモリーに付属する取扱説明書や注意書きも合わせてご確認ください。

リファレンス

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。